認定特定非営利活動法人　**2017 年　新春号**

大津夜まわりの会ニュース

〒520-0815
大津市膳所 1 丁目 10－4
TEL/FAX ： 077-521-3603
メール：yomawarinokai@gmail.com

ことしも　よろしく　お願い申し上げます

2017 年は“波乱の年”?!

心配な「強権」「身勝手」「分断・排除」の蔓延

アメリカにトランプ政権誕生で幕開けした 2017 年。過激な保護主義をうたい、口汚く敵を罵って己を誇示する新大統領に、世界中で期待よりも不安と反発が高まっています。国境に壁、貿易に壁、人種・移民に壁…。身勝手な理屈で強権を振りかざす先にあるのは「分断」と「排除」の暗い溝です。同様に「自分は正しい」「我々こそが正義だ」と居丈高な言動がはびこれば、弱者・他者への思いやりや助け合いは踏み潰され、人権は吹っ飛びます。一握りの勝者の陰で多数が泣かされる。“波乱の年”をそんな時代の幕開けにしてはなりません。

☆　ホンモノの「働き方改革」でなければ！　★

さて、同様の危うさが目立つ安倍首相のもと、ホームレスやその一歩手前など「住」に困っている「ハウジング・プア」の人たちにとって、少しは明るい年になるでしょうか？

安部政権は「一億総活躍社会」を掲げ、「働き方改革」を押し出しています。確かに過労死や過労自殺に追いやる長時間労働の改善や、「同一労働同一賃金」は必要です。だが、自宅に持ち帰る「隠れ残業」を強いられれば、過労は減らず残業代が減るだけ。「同一労働同一賃金」も基準や例外によって不合理な現状を温存させる恐れがある。非正規労働者の賃金を上げない限り格差は解消されません。私たち「大津夜まわりの会」が支援するハウジング・プアの人たちには、企業の論理、雇う側の都合優先のせいで、身も心もボロボロになった挙句「使い捨て」にされた人が数多くいます。働き方改革が本当に働く人に味方するのか、内実が問われます。

誰にも「ハウジング・プア」になる可能性が…

「衣食足りて礼節を知る」といいますが、安眠できる「住」の確保は文化的な最低限度の生活に不可欠です。ところがそれすら保障されないハウジング・プアには、仕事や職場の事情以外にも、わずかな行き違いやつまづき、突然の厄災や不運、周りの心ない仕打ちなどによって、容易に追い込まれます。いわば誰にでも起こりうることで「あすはわが身」と痛感させられます。それだけに「分断」「排除」ではなく支え合い、助け合い、労わり合う「温かみ」のある世の中こそが、ハウジング・プアをなくす近道。大津夜まわりの会はその実現に向け、ことしも精いっぱい頑張ります。

つかいみちを選べる募金

ご協力のお願い

滋賀県共同募金会が赤い羽根共同募金の一環として昨年実施した「つかいみちを選べる募金」で、大津夜まわりの会に多くの方からご寄附をいただきました。そのおかげで、助成事業の自己負担分などに充当でき、大きな成果を挙げることができました。ご寄附くださった皆様には深謝申し上げます（詳細は下記の報告をご覧ください）。

この募金はことしも実施され、当会も 2 年連続でエントリーされました。募金受付は 3 月末日までで、所定の払込用紙（当会にあります）によって振り込んでいただきます。ぜひとも、あなたのご寄附の「つかいみち」に当会をお選びいただき、熱い応援エールをお願いいたします。

平成 27 年度の「つかいみちを選べる募金」についてのご報告

皆様からの寄附金（49 件）	289,500 円
滋賀県共同募金会加算金	116,000 円
合　計	405,500 円

子ども学習支援事業自己負担	61,536 円
歳末越冬支援自己負担	84,507 円
社会生活基盤づくり講座自己負担（見込）	100,000 円
緊急食料支援物資等購入	50,000 円
ひまわりサロン運営費（見込）	109,457 円
合　計	405,500 円

大津夜まわりの会ニュース　第 14 号　2017 年 1 月 10 日発行

冷たい風雨も何のその！賑わいました

歳末恒例　第 16 回　越冬支援のつどい　12 月 23 日（祝）実施

例年とちょっと違ったけど

☆おもちつきは食中毒の予防で中止に
☆衣料コーナーは屋内へ　☆30 分繰り上げ閉会

主催 ： 大津夜まわりの会　（NHK歳末たすけあい助成事業）

協力 ： 大津市社会福祉協議会　大津市社会福祉事業団　大津生活と健康を守る会
滋賀民医連膳所診療所　ぜぜ健康友の会　びわこダルク　（50 音順）

生活困窮者を支援する恒例の第 16 回「歳末越冬支援のつどい」。昨年 12 月 23 日、大津市膳所市民センター前で開催し、今回も多くの人たちからの善意が来場者らを励ましました。

ただ、ことしはノロウイルスの大流行による食中毒を防ぐため、急きょ「おもちつき」の中止を決めました。また開会直前に激しくなった風雨を避け、大急ぎで衣料品コーナーを室内に移したほか、閉会も 30 分繰り上げるなど、異例続きの「つどい」になりました。

それでも会場では豚汁・粕汁、炊き込みご飯の炊き出しに加え、おもち 2 個パック、白米・インスタント食品などが入った食品袋の提供も。キッズコーナーを含め約 200 人の来場者は暖かい炊き出しに頬を緩めたり、スタッフ、ボランティアらと談笑したりする場面がそこここに。「つどい」がめざす「支援と交流」の輪が大きく広がり、つながったことでしょう。

厳しい年の瀬にも「来年こそは！」と気持ちを新たにしていただけたのなら、うれしいです。

善意の支援品　ありがとうございました！

「越冬支援のつどい」には県民、市民の皆様方から数々の支援品をいただきました。

暖かい冬物衣料品を中心に、タオル、石けんなどの日用品、お米や食品、自転車や電化製品のほか、現金や切手、商品券、カード等々。当会事務所のほか市社会福祉協議会や膳所診療所に託されたものも多数ありました。

つどい当日の来場者に持ち帰っていただき、来られなかった人には後日渡すなどして皆様の善意をしっかりお届けしました。

引き続き、ご支援よろしくお願いします

大津夜まわりの会では、日常的に支援いただける物品の提供をお待ちしています。

衣料品全般（新品か洗濯した品）、食料品（賞味期限内）、電化製品（テレビ、冷蔵庫、電子レンジ、炊飯器、掃除機など）、各種カード（図書券、商品券も）などです。

一度、下記へお問い合わせください。

大津夜まわりの会
電　話：077-521-3603
メール：yomawarinokai@gmail.com